

活動名	個別指導COSTA (コスタ) 高齢児・施設退所者向け拠点型 学習支援サービスの提供事業		団体名称	認定NPO法人 3keys (スリーキーズ)
			活動テーマ	経済的困難を抱える子どもを支援する活動
			活動の目的	①学習支援活動
■活動結果(概要)		■実施スケジュール結果		■各スケジュールごとの活動内容
<p>各地域に広がる「無料塾」をはじめ、現在の学習支援の多くは子どもからしたら利用方法が見つかることがなかなか難しいということもあり、支援の対象から漏れてしまう子どもたちが数多く存在しています。</p> <p>これまでの虐待などで施設に保護された子ども向けの学習支援のノウハウを活かして、これら既存の制度では漏れてしまう子どもたちに、安心して学習できる場所やサービスを継続的に提供していくことで、子どもたちの自立を支援していきます。</p> <p>1年目ということで手探りで進める部分もあったものの、定期的に通うことができ学習習慣に変化が出て来た利用者もいるなど、少なからず成果は見られたと感じています。今後も必要な子どもに本事業を知ってもらい有効に活用してもらえよう尽力していきます。</p>		<p>2017年12月～</p> <p>2018年1～3月</p> <p>2018年4～8月</p>		<p>COSTAオープン</p> <p>・生徒募集（主にチラシ配布など）</p> <p>・ボランティア（チューター）募集</p> <p>・指導開始</p> <p>・生徒募集</p> <p>・広告での告知</p>
■活動目標	<p>各地域に広がる「無料塾」をはじめ、現在の学習支援の多くは子どもからしたら利用方法が見つかることがなかなか難しいということもあり、支援の対象から漏れてしまう子どもたちが数多く存在しています。これまでの虐待などで施設に保護された子ども向けの学習支援のノウハウを活かして、これら既存の制度では漏れてしまう子どもたちに、安心して学習できる場所やサービスを継続的に提供していくことで、子どもたちの自立を支援していきます。</p>			
■長期成果	<p>中退や不登校の予防、進学・自立の意欲向上 社会の接点、信頼できる大人がいらない虐待を受けた子どもたちの、信頼感やつながり・自己肯定感の醸成 働くボランティアの存在が身近なロールモデルになる 子ども相談員による悩み相談や生活支援への対応</p>			
活動風景				
 <p><学習場所の様子></p>		 <p><チラシ></p>		 <p><無料個別指導COSTAのロゴ(縦・横)></p>
■得られた成果と今後の課題		■受益者や地域社会の変化		■得られたノウハウの共有・発信
<p><得られた成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の目標である高卒認定試験合格に関して、初回の試験で8教科受験したうち5教科で合格することができた。 ・困っている子どもたちへのリーチが思った以上に難しく、なかなか直接的に子どもたちへ本事業について十分に知らせることができなかったが、必要なタイミングで本事業の存在を思い出し、連絡をしてくれることもあるということがわかった。 ・中間報告の時点では1名だった登録者が、3名にまで増加した。 <p><今後の課題></p> <p>まだまだ子どもたちに本事業の存在を十分に知らせることができていないので、SNSや関係者への告知などを更に活用しながら周知に努める必要があると感じる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・受益者は定期的に本事業を利用することで、利用し始めた頃はほとんど学習する時間を設けることができていなかったのが、少なくとも週に1度（2～3時間）は学習する時間を設けることができ、習慣化につながった。 ・施設入所中の子どもで、家庭復帰が決まっている場合に施設を退所した後の施設以外の繋がりを作る重要性について、施設関係者の集まりにて本事業を紹介したことで理解度が少しずつではあるが高くなったと感じた。実際に退所直前に本事業の見学/登録にまで至ったケースがあった。 ・明確かつ期限の決まっている目標を持っている受益者は、チューターと関わる中で自分の苦手/得意分野を認識できるようになった。その結果、最初は何をしたら良いかわからない状態だった受益者が、自主的に学習したい単元等を決めることができるようになった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・高卒認定試験対策指導をする中で、各教科のポイントや傾向など分析することができた。それにより、プログラム化する上で必要な教材作成において、本事業を利用する子どもに合わせたものをより作成しやすくなったと感じる。 ・10代がよく使用するいくつかのSNSでの告知を試す中で、効果的なツールと本事業とは相性があまりよくないと思われるツールを差別化することができ、今後のSNS広告のヒントとなる情報を得ることができた。 ・初回面談の際にヒアリングする内容や、子ども/付き添いの大人から質問された内容を蓄積していくことで、どのような点を重点的に伝えたら子どもが安心して本事業を利用することができるかということについて整理する手がかりとなった。
(団体名) 特定非営利活動法人3keys (ホームページ) : http://3keys.jp/			助成金額 994,000円	助成期間 H29.9.1～H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。